

生態系被害防止外来種リスト見直しに係る意向調査結果概要

生態系被害防止リストにおいて追加すべき種や除外すべき種について、地方公共団体を含め、関係省庁、検討会及びWG会合の委員に向けて意向調査を実施した。

1. 地方公共団体からの回収状況

1,114の地方公共団体からアンケートに対しての返事があり、このうち追加要望を記載していたのは56の地方公共団体であった。地方公共団体から追加意見のあった種は全部で83種であり、そのうち最も多く提案されたのは、植物はナガミヒナゲシ、動物はツヤハダゴマダラカミキリであった。また、現行リストでは掲載していないクサガメについても複数意見があった。

(1) アンケート回答状況

返答数	1,114
外来種リスト有無に回答した地方公共団体	1,091
外来種リストがある地方公共団体	64
外来種リストがない地方公共団体	1,027
防除対策中の外来種がいる地方公共団体	532
重要視している外来種がいる地方公共団体	400
追加してほしい外来種がいる地方公共団体	56

(2) 追加候補の主な提案種

分類群	種名	地方公共団体数
植物	ナガミヒナゲシ	18
植物	メリケントキンソウ	9
昆虫	ツヤハダゴマダラカミキリ(特定外来生物)	5
爬虫類	クサガメ	3
魚類	コイ	3
鳥類	サンジャク	2
魚類	カムルチー	2
昆虫	サビイロクワカミキリ(特定外来生物)	2
その他無脊椎	チュウゴクスジエビ	2
その他無脊椎	アジアベッコウ	2
植物	ビロードモウズイカ	2

2. 意見照会の結果まとめ

地方公共団体以外に、農林水産省及び環境省外来生物対策室、5つの地方環境事務所（北海道、東北、中四国、九州、沖縄）から提出された。このうち、北海道地方環境事務所については、追加意見はなかった。また、生態系被害防止外来種リストの見直しに係る検討会の検討委員及び植物、魚類WG委員からも意見が提出された。

令和5年度時点に外来生物対策室から共有のあったものを含め、追加候補として複数の意見があった種類及び、除外候補として意見のあった種類は下表の通りである。

(1) 追加候補として意見のあった種のうち、複数意見があった種

分類群	追加候補種	環境省	農林水産省	地方公共団体	親検討会・WG委員
				(複数回答を含む)	(複数回答を含む)
鳥類	サンジャク	外来室、中四国		●	●
爬虫類	クサガメ	外来室		●	
魚類	外来タナゴ類	関東、中四国			●
	カムルチー			●	
	カラドジョウ			●	●
	カラドンコ			●	●
	コイ			●	●
	コウライオヤニラミ	九州			●
	マーレーコッド				●
	メダカ(飼育種)	九州		●	
	ロングイヤーサンフィッシュ				●
昆虫	サビイロクワカミキリ	東北	●	●	
	ツヤハダゴマダラカミキリ	東北、中四国	●	●	
	ツヤオオズアリ	関東、沖縄		●	
	ハヤトゲフシアリ	沖縄		●	
	ヤエヤママドポタル	関東、沖縄		●	
	ムネアカハラビロカマキリ	関東、中四国		●	
	ソテツシロカイガラムシ	外来室、沖縄	●	●	
その他無脊椎	アジアベッコウ	関東、沖縄		●	
	エリマキコウガイビル	関東		●	
	オガサワラリクヒモムシ	沖縄		●	
	カワリヌマエビ属			●	●
	チュウゴクスジエビ	関東		●	●
植物	オウゴンカズラ(ポトス)	関東、沖縄	●		●
	シロツメクサ	沖縄		●	●
	クサヨシ				●
	シンクリノイガ	関東		●	
	センダンキササゲ	沖縄			●
	ナガハグサ				●
	ナガミヒナゲシ	外来室、沖縄		●	●
	ババパイア	関東	●		
	ピロードモウズイカ			●	
	ブタナ			●	●
	メリケントキンソウ	沖縄		●	●
	ユーカリ属		●		●

(2) 除外候補として意見のあった種

分類群	除外候補種	環境省	農林水産省	地方公共団体	親検討会・WG 委員
植物	ヒイラギナンテン				●
	ナンキンハゼ				●
	ハルガヤ				●
	シマスズメノヒエ				●
	タチスズメノヒエ				●
	ヒロハオモダカ				●
	木本植物の「その他の定着予防外来種」全般				●
	シマトベラ				●
	ハナフカノキ				●